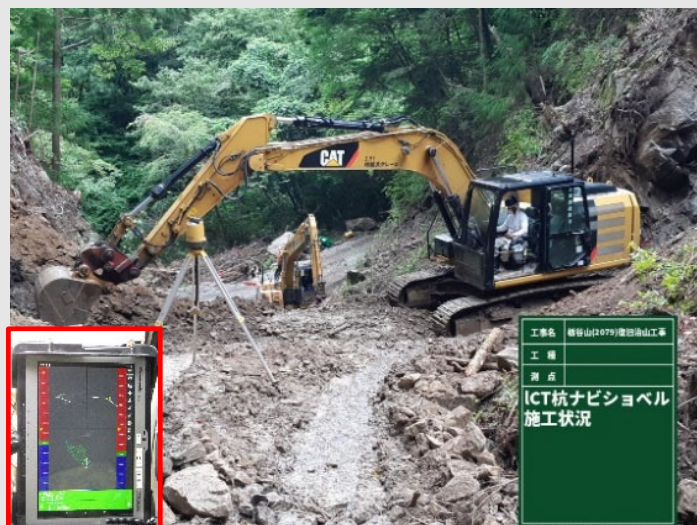


### 事例 3 森林土木工事における ICT 施工技術の活用

(四国森林管理局)



- ・ 高知県安芸郡(あきぐん)北川村(きたがわむら) 梶谷山(とちだにやま) 国有林
- ・ (左) ドローンによる起工測量の様子(令和4年9月)
- ・ (右) ICT バックホウによる掘削(令和4年9月)、  
運転席に搭載されている端末(左下)

地形が険しく足場の悪い現場での作業負担の軽減や安全性の向上等への対応のため、林野庁では、森林土木工事における ICT 施工技術の活用を推進しています。

四国森林管理局では、森林土木工事における ICT 施工技術の活用の推進に向け、令和4年度に安芸森林管理署管内の治山工事施工現場において、森林管理局・署等の職員を対象とした現地検討会を開催しました。

検討会では、ドローンによる空中写真測量技術を用いた起工測量や3次元設計データ作成等についての説明が行われた後、ICT バックホウ\*による掘削作業の実演が行われ、従来の施工方法より少ない人員での作業や施工管理が可能となること、危険な箇所への立ち入りが不要となること等の ICT 施工技術を活用した工事の利点を確認しました。

\* GPS 等を使用したリアルタイムの位置計測・表示システム(マシンガイダンス機能)により経験の少ないオペレーターでも正確な掘削作業が可能となるバックホウ。